



8月25日VS. 東北楽天ゴールデンイーグルス栗山町民応援観戦ツアーに行ってきました



8月25日に札幌ドームで行われた、北海道日本ハムファイターズのホームゲーム（VS. 東北楽天ゴールデンイーグルス）に町民80人が招待されました。招待された町民の皆さんは、試合前に栗山町応援大使の宮西尚生選手、浅間大基選手との集合写真を撮影した後、試合を観戦し、満員の札幌ドームで大きな声援を送りました。

浅間選手はスターティングメンバーとして1番ライトで出場し、6回裏にはフェンス直撃の2ベースヒットを放ち、9回裏には宮西選手が登板し0点で抑えるなど、栗山町応援大使両選手の活躍を間近で見ることができました。また、清宮幸太郎選手の本拠地初ホームランもあり大いに盛り上がりました。試合は、延長12回までもつれ込み、惜しくも3-3で引き分ける大接戦となりました。

今シーズンの試合も残りわずかとなりましたが、ファイターズのパ・リーグ優勝と日本一に向けて、栗山町応援大使の宮西尚生選手、浅間大基選手を応援しましょう！



栗山町 PR ブースの出展をしました！



栗山町の観戦ツアー当日、北海道179市町村応援大使札幌ドーム北3ゲート奥で、PRブースを出展しました。

ブースでは、ふるさと納税PRを中心に、出展し、栗山町の応援大使就任を記念した応援大使オリジナルグッズを含むふるさと納税返礼品の紹介やアンケート調査の実施、観光パンフレットの配布を行いました。

【問い合わせ】

町経営企画課地域政策グループ
☎ 73-7502

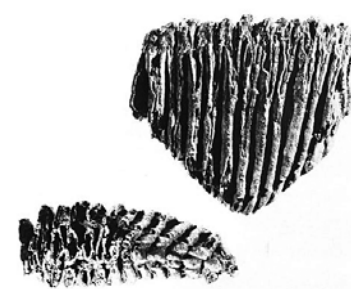
No.28

こんにちは！町史編さん室です

「栗山町の文化財」を読み直そう

昭和39（1964）年に町教育委員会が発行した「栗山町の文化財」という書物が、古書店で高値がついていることを知り、古い事柄をあらためて考えるきっかけとなっています。高値がつく理由として推測しているのは、ナウマンゾウの臼歯の写真が掲載されていることと、夕張川流域の縄文遺跡の分布と調査方法が科学的手法で記述されていることの2点です。

栗山町でナウマンゾウの臼歯が発見されたのは昭和38（1963）年でした。これは、忠類村（現在の幕別町忠類）で日本国内2つ目のナウマンゾウ骨格化石発見よりも早い発見となっています。その当時、ナウマンゾウの臼歯発見を含む夕張川流域の縄文遺跡を調査していた野村崇氏（現在、北海道文化財保護協会理事）は、科学的な手法で調査を行い、その手法をしっかりと記録していました。縄文遺跡調査の記述が掲載されている「栗山町の文化財」が、現在、古書店で高値がついていることを考えると、古い書物の中



栗山町で発見された「ナウマンゾウ」の臼歯

にも現代に必要な情報が詰まっているのではないかと想像しています。

「栗山町の文化財」という書物に出会ったことで、古い事柄は一部の物好きな人が発見し、その発見や発見した物を自慢するものではなく、みんなの共有財産として、それを守っていくかなければならないという考えが、戦後急速に広まっていたことを思い出しました。

これを契機として、栗山町の縄文時代の生活を皆さんと一緒に考えてみたいものです。（下部）

町史編さん室（カルチャープラザ「Eki」内）

No.28

新しい力で栗山を元気に！地域おこし協力隊です

皆さんの手で店舗の改修を

今回担当します地域おこし協力隊の高橋毅です。

台風に続き、大きな地震。大変な事態になっています。平成30年北海道胆振東部地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。私たち栗山町地域おこし協力隊は、幸いにもけがはありませんでした。

カフェ＆バーの開店に向け、7月6日より実施したふるさと納税を活用したクラウドファンディングでは、全国から600万円を超えるご寄附を賜りました。ご支援いただきました皆様に心より御礼申し上げます。

現在は、自分たちの手で店舗を改修しています。床を磨いたり、壁紙を剥がしたり、地味な作業が多いですが、災害続きの栗山町で少しでも明るい話題になれるよう毎日頑張っています。

今後、壁の漆喰塗りなどをワークショップ形式で皆様にもご参加いただけるように開催します。

ますので、お時間がございましたらぜひご参加ください。よろしくお願ひします。

【問い合わせ】

町PR隊事務所
☎ 76-7103



秋まつりでの試験営業の様子



床磨きに汗を流す様子

罹災証明書・被害届出証明書を発行します

9月に発生した台風21号と北海道胆振東部地震により、住家などに被害を受けた場合、被災者の申請に基づき「罹災証明書」「被害届出証明書」を発行します。各種支援・救済措置の手続きや保険金の請求などに証明書が必要な方は、次のとおり申請してください。

【証明書種別】

<罹災証明書>

被災した住宅・納屋・車庫などの被害の程度を町が証明

<被害届出証明書>

上記物件のほか、動産や車両などの被害届出をしたことを町が証明

※農作物や農業用ビニールハウスなどに関する被害は、別途農業関係団体にご相談ください。

【対象となる災害】

<台風被害>

9月5日発生の台風21号

<地震被害>

9月6日発生の北海道胆振東部地震

【申請期間】

10月31日(水)まで

※受付は役場庁舎開庁時間内となります。

【発行申請窓口】

総務課広報・防災・情報グループ

☎ 73-7501

【申請に必要なもの】

①罹災証明願または被害届出証明書

※発行申請窓口で書いていただきます。

②被害状況が確認できる写真

※被害状況写真は、片付けや補修をする前に撮影してください。

③申請者の印鑑および窓口に来られた方が申請者本人であることを確認できるもの

<身分証明書>

運転免許証、健康保険証など

※被災者本人の申請でない場合、委任状が必要となります。(発行申請窓口で記載)



【問い合わせ】

町経営企画課地域政策グループ ☎ 73-7502



室蘭線沿線南空知首長と懇談会を実施

JR北海道が「単独では維持困難」とする室蘭線岩見沢～沼ノ端間の維持、存続に向け南空知3市町(岩見沢市、由仁町、栗山町)の首長と道、北海道運輸局、JRの関係者による懇談会が8月29日に岩見沢市で行われました。

懇談会では、北海道運輸局より今年7月に示されたJR北海道への支援策の内容、道からは8月1日開催の6者会議の結果内容、JR北海道からは今後の経営改善に向けた方向性などの報告がありました。

これを受け、南空知3市町は、負担の軽減や財政措置を国に強く求めていくことを確認し、今後さらに線区の維持存続に向けた議論を進めるため、できるだけ早い時期に沿線自治体である苫小牧市、安平町も含めた室蘭線全体の協議会を設置することを確認しました。

本町も、室蘭線は町民にとっては欠かすことのできない公共交通の足であり、栗山駅を核とした町の再生事業を進めています。引き続き、沿線自治体とさらなる利用促進策に加え、維持存続に向けた議論をしっかりと進めていきます。

栗山秋まつり、初の臨時列車が運行!

JR北海道では、4月のくりやま老舗まつりに続き、栗山秋まつり(栗山天満宮例大祭)に合わせた臨時列車を運行しました。

栗山秋まつり(栗山天満宮例大祭)によるJR臨時列車は初めての運行となり、多くの乗客でにぎわいました。今後もJR北海道、沿線市町と連携し、利用促進策を進めていきます。



くりやま老舗まつり時の臨時列車(4月14日撮影)



【臨時列車運行日時】

9月24日(祝)
栗山駅 20:06 発
→岩見沢駅 20:29 着

災害への備えに取り組む

こんにちは! 私たち栗山青年会議所です

VOL.81

こんにちは、栗山青年会議所理事長の小針一人です。
9月に入り、台風と地震による災害が立て続けに起こりました。連日の報道で災害状況を目にし、胸が張り裂けそうに思われ、地震で亡くなりになられた方に対して謹んでお悔やみ申し上げます。また、被災されておられる皆様に対して、謹んでお見舞いを申し上げます。
私たちが住み暮らす栗山町は、幸いにも被害は一部地域での道路陥没や停電と比較的軽微でありましたが、9月6日に栗山商工会議所青年部と栗山駅前通りのK・KITANOの店舗前をお借りし、カレーの炊き出しをさせていただきました。また、9月8日には日本JCSニア・クラブ、栗山商工会議所青年部の有志で9月25日に行われた栗山秋まつり(栗山天満宮例大祭)で販売した「くりやまカレージギスカン」100食をはじめ、それに伴うカセットコンロ、カセットボンベ、飲料

水などを心ばかりではありますが、むかわ町へ救援物資としてお届けさせていただきました。
栗山青年会議所では5年前に栗山町と防災協定を締結させていただき、これまで緊急避難訓練での誘導や炊き出しをしてきましたが、この震災で実際に行動することの難しさを、身をもって痛感しました。
そこで、このたびの災害を自分事と捉え栗山青年会議所では今後、被災地や被災者へ心を寄せて支援活動を継続し、平常時から災害に対する意識醸成を図り、行政と相互連携を進めることで、防災体制のさらなる充実を図り災害への備えに取り組んでいきます。

